

# 福岡市立こども病院 地域医療連携室ニュースレター

Newsletter

Vol. 07  
2021年1月冬号

P1

## あけましておめでとうございます

当院の運営に、日頃より多大のご理解とご支援を頂き誠にありがとうございます。  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。

### 40th Anniversary

40周年を記念して「記念誌」・「記念講演」を企画しました

福岡市立こども病院は、1980年9月に西日本唯一の小児総合医療施設として開院し、2014年秋に福岡市東区アイランドシティ香椎照葉へ移転し、このたび開院40周年を迎えることとなりました。

その40周年を節目として、「記念誌」・「記念講演」を企画し、「記念誌」は、年末に登録医の先生方へ送付させていただきました。もし届いていないようでしたら、当院より郵送いたしますので、ご連絡いただけますと幸いです。

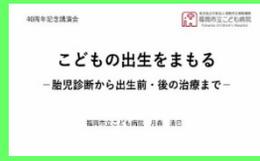
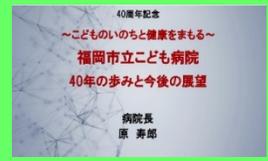
また1月16日よりamazon・県内主要書店にて発刊し、本書の収益は、「福岡市立こども病院研究基金」「療養環境整備基金」「患児家族滞在施設整備基金」に充てられます。

「記念講演」は、新型コロナウイルス感染症の流行・拡大のため記念講演会は中止し、講演のみの動画配信といたしました。1月12日より当院ホームページにて公開しましたのでご覧いただけますと幸甚に存じます。URL:[http://www.fcho.jp/childhp/news\\_detail.php?id=535](http://www.fcho.jp/childhp/news_detail.php?id=535)



### 40周年記念講演 (1月12日より当院ホームページにて動画配信いたします)

- ◆ こどものいのちと健康をまもるー福岡市立こども病院 40年の歩みと後の展望ー (院長 原 寿郎)
- ◆ 先天性心臓病の治療ー新生児から成人までー (副院長 角 秀秋)
- ◆ こどもの出生をまもるー胎児診断から出生前・後の治療までー (副院長 月森清巳)



40周年記念講演 Web サイト

### トピックス

## 白血球崩壊毒素を産生する黄色ブドウ球菌感染症

総合診療科 科長 古野 憲司



膿痂疹は、日常診療でよく遭遇する疾患ですが、当院にご紹介いただくほど重症化することは稀だと思います。しかし、4,5年前から「繰り返す膿痂疹」や「難治性の膿痂疹」を理由に皮膚科や総合診療科へご紹介いただく件数が増えています。多くのお子さんが、清潔や抗菌薬投与では改善せず、急に大きく腫れてしまうことが特徴です。足の指にできた膿痂疹から骨髄炎に進展してしまったお子さんもいらっしゃいました。その患者さん方に共通するのは、膿から得られる黄色ブドウ球菌(ほとんどがMRSA)がPanton-Valentine leucocidin (PVL)という白血球崩壊毒素を産生していることです。原発性免疫不全のスクリーニングも行いますが、これまでのところ診断に至った方はおられません。

PVLはその名の通り白血球に対する親和性が高く、好中球の細胞溶解作用と好中球から放出される炎症性メディエーターや活性酸素などによって組織壊死を引き起こすと考えられています。ただし、膿痂疹をはじめとする皮膚軟部組織感染症の病態にどの程度関与しているのか、はっきりとはわかっていません。現在、分子生物学的手法を用いて解析を行っていますが、当科の患者さんから得られたPVL産生MRSAは、遺伝的にはほぼ同系統の株で、しかもこれまで日本国内から報告されているものとは異なることが明らかになっています。おそらく、このタイプの黄色ブドウ球菌が福岡市やその周辺で広まっているのだと推測されます。

基本的に、黄色ブドウ球菌の感染経路は、接触感染や飛沫感染です。クリニック内の環境清掃や消毒、医療機器の消毒、スタッフの手洗いを徹底していただくのはもちろんですが、家族内でピンポン感染を繰り返している例もみられますので、タオル類の共有や入浴時などの直接接触を避けるといった指導も必要です。また、急に悪化する可能性を説明しておくことも大切です。

治療に難渋する膿痂疹、急激に大きくなった膿痂疹など、お困りのことがありましたら、遠慮なくご紹介ください。



## ☆診療体制のご紹介☆



## ○外来診療担当医表(令和3年1月)

添付の別紙をご参照ください。また、下記URLからもご覧いただけます。

<http://www.fcho.jp/childhp/uploads/article/files/3年1月%EF%BC%89.pdf>

## ☆地域別紹介患者統計(2020年10~12月)☆

新型コロナウイルスの影響により、当院の外来患者数は、前年度よりも大幅な減で推移しております。

このような状況に関わらず、多くの患者さんをご紹介いただき、有り難く感謝申し上げます。今後とも、宜しく願いいたします。

地域医療連携室・副室長 加藤秀幸

地区	10月	11月	12月	地区	10月	11月	12月
福岡市医師会地区	485	448	459	糸島医師会地区	11	18	15
東区	250	216	221	粕屋医師会地区	177	133	126
博多区	58	47	49	宗像医師会地区	43	27	26
中央区	38	49	60	筑紫医師会地区	73	67	66
南区	37	36	41	その他福岡県内	48	50	44
城南区	16	12	20	九州(福岡県外)	128	114	117
早良区	42	47	31	その他(九州外)	20	29	23
西区	44	41	37	合計	985	886	876

## ☆カンファレンス・研修会のご案内☆

## ○第328回こども病院合同カンファレンス

2021年2月WEBにて開催予定(オンデマンド配信)。詳細が決定いたしましたらご案内いたします。

WEB開催にあたり、メーリングリストへのご登録をぜひお願いいたします。

## ○第18回福岡市立こども病院胎児心エコーカンファレンス

WEB開催(オンデマンド配信) \*配信期間:2021年2月18日~

1) 胎児心エコー外来新患症例の紹介 2) 症例提示1 3) 症例提示2 4) 専門医からのアドバイス

2月18日に福岡市立こども病院胎児心エコーカンファレンスのホームページにアップします。

URL:<http://fukkuokataiji.kenkyukai.jp/>

## ○第14回こども病院・連携病院周産期症例検討会

WEB開催(オンデマンド配信) \*配信期間:2021年2月1日~2月15日

講演内容:『新型コロナウイルス感染症の周産期管理』

1) 妊産婦への対応 九州医療センター 産婦人科・部長 小川 伸二

2) 出生後の新生児への対応 九州医療センター 周産期センター長 佐藤 和夫

参加費:無料 参加登録:2月12日(金)までに、URLからお申込み下さい。

URL:<https://forms.gle/3sqoGBi9G5f43czz8>

## ☆連携室からのご案内☆

・当日の診察・入院の依頼は医師間での連絡をお願いしております。

地域医療連携室へご連絡ください。当日の担当医へ電話をお繋ぎいたします。



福岡市立こども病院 地域医療連携室 webサイトはこちら

診療情報提供書を緊急にFAXする場合は下記の番号をご利用下さい

・地域医療連携室(平日時間内の対応) FAX 092-692-3318

・救急事務室(時間外・土日の対応) FAX 092-692-3369



ご意見・お問い合わせは  
地域医療連携室(担当:西岡、寺本)  
までお願いいたします  
TEL:092-692-3316  
Mail:renkei.k@fcho.jp